



第14回定時総会

第14回定時総会

令和8年度第14回定時総会が開催され、各議案とも原案どおり承認された。

第14回定時総会が、令和8年5月28日（木）ANAクラウンプラザホテル松山で正会員368名のうち258名（出席57名書面決議201名）賛助会員6名が出席して開催された。

大西副会長の開会宣言があり、続いて、会員の物故者に対し黙祷を捧げた。

小池会長の開会挨拶の後、表彰式に移り、愛媛県知事から産業廃棄物の適正処理を通じて生活環境の保全に寄与した個人2名、法人1社に対して感謝状が贈呈された。

また、協会長表彰として小池会長より功績のあった方々、功労者表彰3名、優良事業所

表彰2社、優良従業者表彰7名に対して表彰状と記念品が贈呈された。

表彰者を代表して知事感謝状を受賞された一宮運輸株式会社前取締役四国支社長近藤雅美氏から謝辞があった。

その後、愛媛県知事 中村時広様（代読 愛媛県県民環境部長 松田交志様） 愛媛県議会 議長 松尾和久様（代読 愛媛県議会 環境保健福祉委員会 委員長 新田泰史様）、松山市長 野志克仁様（代読 松山市環境部 副部长 酒井睦様）から祝辞を賜った。



小池会長あいさつ



開会あいさつ
(大西副会長)



愛媛県知事祝辞
(代読 松田部長)



愛媛県議長祝辞
(代読 新田委員長)



松山市長祝辞
(代読 酒井副部長)



来賓の方々



第14回定時総会



第14回定時総会会長あいさつ

一般社団法人えひめ産業資源循環協会

会長 小池 正 照

第14回定時総会にあたり協会を代表してご挨拶を申し上げます。

まずは本日の総会に愛媛県の中村 時広 知事代理 松田 交志 県民環境部長様、愛媛県議会の松尾 和久 議長代理 新田 泰史 環境保健福祉委員会委員長様、松山市の野志 克仁 市長代理 酒井 睦 環境部副部長様を始め、多数の御来賓の方々に公務多忙の中をご臨席いただき厚く御礼を申し上げます。

また、本日、表彰を受けられる皆様には永年にわたる協会活動へのご協力を感謝いたしますと共に心からのお祝いを申し上げます。そして、会員の皆様には、日頃からの各般に渡るご尽力に心から敬意を表しますとともに、平素より協会の事業運営に格別のご理解とご協力を頂いております事を衷心より御礼申し上げます。

さて、2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、国においては、一昨年度、循環経済を国家戦略に位置付けるため、「第六次環境基本計画」及び「第五次循環型社会形成推進基本計画」の策定、さらに昨年度は「再資源化事業等高度化法」の完全施行など、廃棄物処理から資源循環へというサーキュラーエコノミーへ流れが、まさに奔流となろうと

しております。

まだこれから一層促進していく必要がある動静脈連携への取り組みや、資源循環の高度化への投資など、私ども、産業廃棄物処理・資源循環業としても、業界あげて取り組まなければならない課題も大きい中、このような社会の変革に積極的に対応していかなければならないと考えているところです。

協会では、今年度も愛媛県や松山市をはじめ関係機関と連携して、3R補助金や各種研修会、先進地への視察研修、調査研究事業などを実施し、会員の皆様が、サーキュラーエコノミーへ適合した産業廃棄物処理業者として発展していくための御支援を行って参りますとともに、先に申し述べました社会情勢の変化をいち早くキャッチして、会員の皆様に情報提供を行って参りたいと考えておりますので、積極的にご活用していただきますとともに、引き続き協会活動への御支援、ご協力をお願いいたします。

次に、労働災害防止についてでございます。廃棄物処理業における労働災害の発生状況は全産業の中で飛び抜けて高いことから、この業界で働く方々の「安全確保」は喫緊の課題となっております。

当協会でも、「労働災害防止計画」を策定して、取組みを行ってきましたが、令和5年と6年度の2年間で、会員企業において、3件4名の痛ましい死亡事故が発生してしまいました。協会では、新たに「えひめ産業資源循環協会における令和8年度から令和9年度までの労働災害防止計画」を策定し、

- (1) 令和9年の死亡者数をゼロ
- (2) 令和9年の休業4日以上之死傷者数を12人以下にする

という目標を定め、会員企業の安全衛生水準のなお一層の底上げのため、安全衛生管理研修会の開催や情報提供に取り組んでまいりますので、是非ともご活用ください。

次に、災害廃棄物の処理等の社会貢献活動についてでございます。皆様ご承知のとおり、本県では、平成30年に西日本豪雨を経験し、近い将来、南海トラフ地震の発生が想定されており、災害対応は、真に身に迫った課題であると考えております。

また、近年、高病原性鳥インフルエンザや豚熱が本県を含め、多くの地域で頻発し、罹患した家畜の迅速な処理が求められている状況にあります。

当協会では、愛媛県及び県内全市町と、「災

害時における災害廃棄物等の処理等の協力に関する協定」を、愛媛県と「特定家畜伝染病発生時における防疫業務に関する協定」を締結しており、実際、一昨年度及び昨年度と、松山市からの要請に基づき、災害廃棄物の分別処理を、当協会の会員企業が担ったところ です。改めまして、対応の実務にあたられました会員企業に感謝申し上げます。

このような状況の中、協会としても、災害対応にあたっては、本県のみならず、広域の連携が必須であると考えており、これまで、令和元年度に、四国四県の協会間で、災害時応援協定を締結し連携を図ってきましたが、本年3月には、全国で初めて、広域のブロック間を越えた、中四国地域九県協会間の災害時応援協定を締結し、災害時の対応体制の強化を図ったところです。今後とも、関係機関と連携し、これら社会貢献活動にも積極的に取り組んでまいります。

最後に、本日は、前年度の事業報告と決算の承認に加え、新年度の事業及び予算の報告を予定しておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたしまして、開会のご挨拶いたします。



第14回定時総会



祝 辞

愛媛県知事 中 村 時 広

本日、一般社団法人えひめ産業資源循環協会の第14回定時総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正処理の推進はもとより、環境保全と持続可能な地域社会の構築に向け、多大なる御尽力を賜っており、深く敬意と感謝の意を表します。

また、先ほど、長年にわたる御功績により、感謝状並びに表彰を受けられました皆様におかれましては、その御栄誉を心からおたたえし、今後一層の御活躍を御期待申し上げます。

さて、我が国は、不安定な国際情勢をはじめ、急速に進行する少子化・人口減少、地球温暖化にともなう気候変動やプラスチックによる海洋汚染等の環境問題など、さまざまな課題に直面しており、将来にわたり豊かな自然環境と社会生活を維持するためには、関係者が連携・協力を深め、持続可能な循環型社会の形成に取り組むことがますます重要になっています。

本県では、「EVサーキュラーエコノミー推進協議会」を設立し、電気自動車の普及促進と使用済みバッテリーの再利用・再資源化

を一体的に推進しているほか、太陽光パネルの3R推進スキームの確立に向けた検討を進めるなど、将来を見据え、官民連携による資源循環モデルの構築に力を注いでいるところです。

今後、サーキュラーエコノミーへの移行を加速させていくためには、多様な主体が官民の垣根をこえ、本県の地域特性を生かしながら、新たな技術の創出や社会への実装を進めていくことが不可欠であり、今月26日には、その出発点となる官民共創拠点「^E・^N BASE」を県庁第二別館にオープンいたしましたので、積極的に御利用いただければ幸いに存じます。

皆様方におかれましては、こうした施策に御理解、御協力をいただきますとともに、引き続き、環境を守り自然と共生する「愛顔あふれる地域循環共生圏えひめ」の実現に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人えひめ産業資源循環協会のますますの御発展、並びに御出席の皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。祝辞といたします。



第14回定時総会



祝 辞

愛媛県議会議長 松 尾 和 久

一般社団法人えひめ産業資源循環協会の第14回定時総会が開催されるに当たり、県議会を代表してごあいさつを申し上げます。

皆様方には、平素から産業廃棄物の適正な処理や資源循環の推進を通じて、本県の環境保全と県民の安心・安全な生活の確保のために、多大なる御貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、表彰を受けられました皆様には、心からお喜びを申し上げますとともに、今後一層の御活躍を期待いたします。

さて、御案内のとおり、産業廃棄物処理業は、環境保全のみならず、地域社会を支える重大な使命を担われており、環境や社会に配慮した廃棄物処理や再資源化などのカーボンニュートラルの実現、また、持続可能な資源循環を目指すサーキュラーエコノミーへの移行に向け積極的な役割が期待されているところです。

このような中、皆様方におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正処理や資源循環に関する調査研究、研修会等の実施のほか、

普及啓発や広報、さらには社会貢献活動にも励まれるなど、業界の健全な発展のみならず、県民の福祉や公衆衛生の向上、生活環境の保全に、真摯に取り組んでおられ、深く敬意を表するところであります。

加えて、今年3月には、大規模災害等の発生に備え、ブロックをまたがる協定としては全国初となる「中国地域及び四国地域における災害廃棄物処理の相互応援に関する協定」を締結され、災害時の広域的な連携体制の構築に、御尽力いただいておりますことは、誠に心強く、感謝を申し上げる次第であります。

県議会といたしましても、良好な環境の創出と持続可能な社会の実現に向けて、引き続き、全力で取り組んでまいり所存でありますので、皆様方におかれましては、今後とも、循環型社会の構築に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、えひめ産業資源循環協会のますますの御発展と、皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



第14回定時総会



祝 辞

松山市長 野 志 克 仁

本日、一般社団法人えひめ産業資源循環協会第14回定時総会が盛大に開催されますこと、心からお喜び申し上げます。

皆様は、資源が良好に循環する環境づくりを通して、松山市に格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、先ほど表彰を受けられた方々は、長年にわたり廃棄物の適正処理に尽力され、深く敬意を表しますとともに、更なる御活躍をお祈りします。

災害時の廃棄物処理をはじめ、貴会には多大なるお力添えをいただき、改めて心から感謝を申し上げます。

さて、松山市は、『協働で未来へつなぐ 環境にやさしい循環型のまち まつやま』を基本理念に、ごみを減らし、リサイクル率を

さらに高め、ごみ焼却に伴うCO₂（二酸化炭素）排出量を減らすよう推し進めています。

将来世代に豊かな環境を引き継ぐには、廃棄物の適正処理や資源の循環に関する調査研究と研修、普及啓発などを積極的に取り組まれ、専門的な知識や技術を有する貴会のお力添えが必要です。

今後も、貴会と緊密に連携するとともに、市民や事業者と協働し、循環型社会と脱炭素社会が両立した環境にやさしいまちづくりを進めていきます。引き続き、御支援をお願いします。

結びに、お集まりの皆様の御健勝と、一般社団法人えひめ産業資源循環協会のますますの御発展を心からお祈りし、お祝いの言葉とします。



第14回定時総会

日時 令和8年5月28日(木) 15:30

場所 ANAクラウンプラザホテル松山

議 事

第1号議案 令和7年度事業報告並びに収支決算の承認に関する件

(報告事項) 令和8年度事業計画並びに収支予算の報告に関する件

第2号議案 役員の選任に関する件

第3号議案 総会決議事項の補正変更の委任に関する件

各議案ともに審議の結果、原案どおり承認され、近藤副会長による閉会挨拶で終了した。



司 会
(青年部会亀井幹事)



議 長
(児玉理事)



閉会の挨拶
(近藤副会長)



総会風景



選任された役員のみなさん(自己紹介)

総会終了後、新役員で集合写真を撮影し理事会会場へ向かった。



南館3階アメシストで新役員による理事会を開催し、会長（代表理事）、副会長、専務理事の互選を行った。新役員については、別表のとおり。

懇親会

総会終了後、懇親会を行った。初めに、理事会での互選結果を発表した。

会 長（代表理事） 小池 正照

副 会 長 中畑 孝介、大西 良樹、桑原 涼一

専務理事 橋田 直久

（敬称略）

代表して小池会長より挨拶があった。

次に、来賓を代表して西原顧問からご挨拶を賜わり、西田顧問の乾杯の音頭により開宴、多数の来賓の皆様を交えて終始、和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深めた。

途中、中村知事がお見えになり小池会長が、資源循環業界の発展のため多大の御支援をいただいていることに対する御礼を述べた。また、「会員で構成している「えひめ産業資源循環協会地区政治連盟」では、本年11月末に任期満了を迎える愛媛県知事選挙におきまして、本県の発展のために4期16年実績を積み重ねてこられました中村知事に、愛媛をさらなる高みへと導いていただきたく、是非、次期知事選挙に御出馬いただきたく、また御出馬いただいた際には御支援させていただくことを決定させていただいております。皆様是非、熱い後押しをお願いいたします。中村知事、どうか一言ご挨拶をお願いいたします。」と声をかけた。

中村知事よりご挨拶を賜わり、少しの時間ではあったが歓談を楽しんだ。

最後に桑原副会長より閉会の挨拶があり、盛会裏に終了した。



新三役のみなさん
(橋田専務理事、大西副会長、小池会長、桑原副会長、(中畑副会長は欠席))



懇親会来賓御挨拶
(西原顧問)



懇親会乾杯の音頭
(西田顧問)



懇親会閉会の挨拶
(桑原副会長)



中村知事御挨拶



令和8年度一般社団法人えひめ産業資源循環協会役員名簿

(令和8年5月28日)

役 職 名	氏 名	会 員 名	新任・再任
会 長	小池 正照	(株)カネシロ	再
副 会 長	中畑 孝介	愛媛砂利(株)	再
同	大西 良樹	(有)ジー・シー・オー	再
同	桑原 涼一	桑原運輸(株)	新
専 務 理 事	橋田 直久	(一社) えひめ産業資源循環協会	再
理 事	貴田 敏幸	(株)みたらい	再
同	佐々木隆二	(有)佐々木産業	再
同	白石 泰雄	(株)三興	再
同	濱口 誠	(有)吉田町清掃社	再
同	児玉誠一郎	城東開発(株)	再
同	高橋 辰夫	タツミ企業(有)	再
同	三谷 眞司	グローバル環境サービス(株)	再
同	渡部 伸哉	(有)三和興産	再
同	今城 靖浩	松山容器(株)	再
同	上田 徹	オオノ開発(株)	再
同	西田 典正	(株)西田興産	再
同	尾崎 啓太	(株)イージーエス	新
同	石村 耕一	住鉱物流(株)	新
同	神野 能成	松前公益商会(有)	新
同	岡本 達朗	三共産業(株)	再
監 事	岩岡 一平	(有)伊予開発	新
同	伊藤 祐樹	一宮運輸(株)	新
同	佐伯 直輝	佐伯公認会計士事務所	再



第14回定時総会

知事感謝状贈呈者

○知事感謝状（個人）



大西 良樹 殿
(東温市
有限会社ジー・シー・オー 取締役)



大西 良樹 殿



近藤 雅美 殿
(新居浜市
一宮運輸株式会社 前取締役四国支社長)



近藤 雅美 殿

○知事感謝状（法人）



グローバル環境サービス株式会社 殿
(西条市 代表取締役 三谷 眞司)



グローバル環境サービス(株) 殿



第14回定時総会

会長表彰受賞者

○功労者表彰（規定第4条2号該当）



井川 清利 殿
（四国中央市
四国中央開発株式会社）



上田 徹 殿
（松山市
才才ノ開発株式会社）



神野 能成 殿
（伊予郡松前町
松前公益商会有限公司）

○優良事業所表彰（規定第4条3号該当）



代表 井川 清利 殿



受賞者の方々



株式会社トラッシュソリューションズ 殿
（松山市
代表取締役 夏山 峯一）



ふたば株式会社 殿
（東温市
代表取締役 田中 眞二）



代表 ふたば(株) 殿



受賞者の方

○優良従業者表彰（規定第4条4号該当）



藤岡 幸二 殿
(新居浜市
株式会社イージーエス)



代表 藤岡 幸二 殿



長野 敏雄 殿
(四国中央市
協同組合クリーンプラザ)



近藤 浩太 殿
(新居浜市
株式会社イージーエス)



木村 行宏 殿
(四国中央市
株式会社予州興業)



梅崎 凌 殿
(新居浜市
桑原運輸株式会社)



高橋 健二 殿
(松山市
オオノ開発株式会社)



石田 志織 殿
(松山市
株式会社力ネシロ)



受賞者のみなさん



謝辞 (近藤 雅美 殿)



令和8年度 第2回理事会の開催

第2回理事会を令和8年5月28日(木)ANAクラウンプラザホテル松山 南館3Fアメシストルームで開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

- (1) 会長（代表理事）、副会長、専務理事の選定について
議長より会長、副会長、専務理事の選定案について説明を事務局に求めた。
議長は各理事に諮りその結果、満場一致で次のように採択された。

決議事項

- 代表理事（会長）は小池正照理事、副会長は中畑孝介理事、大西良樹理事、桑原涼一理事、業務執行理事（専務理事）は橋田直久理事が選任され、就任を各々承諾した。
- (2) 適正処理推進事業等活動支援金交付申請について
事務局より資料に基づき説明があり、青年部会の申請について承認された。
 - (3) 新規会員加入及び退会の承認について
事務局より資料に基づき、正会員1社の加入について説明があり承認された。

2. 報告事項

- (1) 委員会・専門部会委員について
事務局より資料に基づき、委員会及び専門部会運営委員候補者名簿について説明があり承認された。
- (2) 委員会等報告
 - ① 令和8年度第1回企画広報委員会議事録（R8.5.8）
 - ② 全産連第80回理事会議事録（R8.3.10）
- (3) 地区役員名簿の提出について
事務局より資料に基づき説明があり、役員名簿の提出報告依頼をした。
- (4) 今後のスケジュールについて
事務局より資料に基づき、概要報告があった後、第3回理事会を7月2日(木)に開催することとなった。また、顧問・行政懇談会を10月2日(金)予定で進めている旨の報告があった。



令和8年度 第3回理事会の開催

第3回理事会を令和8年7月2日(木)久保豊二番町ビル3階二番町ホールで開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、令和8年度顧問・行政懇談会について10月2日(金)に開催予定とし、議題等詳細については各地区会長及び理事の皆様、過去の議題を取りまとめた資料として送付させていただいたところで、7月24日(金)迄の取りまとめを各地区会長に依頼済みとの説明があり、承認された。

(2) 適正処理推進事業等活動支援金交付申請について

事務局より資料に基づき、八幡浜地区及び宇和島地区から申請のあった適正処理推進事業等活動支援金交付申請について説明があり、申請通り交付決定する旨承認された。

(3) 新規会員加入及び退会の承認について 正会員1社の入会について説明があり、承認された。

2. 報告事項

(1) 委員会報告

事務局より、理事会前に令和8年度第2回総務委員会が開催され、理事会に諮る議題等の審議をした旨報告があった。

(2) 全産連報告

事務局より資料に基づき、第72回全産連四国地域協議会における協議内容の報告があった。

(3) その他

① 令和10年度「資源循環と環境を考える全国大会」の愛媛県開催について

事務局より資料に基づき、標記大会が、令和10年11月17日(金)に、松山市のANAクラウンプラザホテル松山で開催予定の旨報告があった。

② 愛媛県災害廃棄物処理実動訓練について

事務局より、今年度愛媛県が西条市で実施を計画している旨報告があった。

③ 3Rシステム事業化促進支援事業の募集等について

事務局より資料に基づき、今年度も県から補助を受け実施する旨、報告があった。

④ 愛媛労働局からの緊急要請について

事務局より資料に基づき、去る6月11日の会員企業における死亡事故に伴い、愛媛労働局から緊急要請があり、要請内容を会員企業に周知を図っている旨の報告があった。



令和8年度 第2回総務委員会の開催

第2回総務委員会を令和8年7月2日(木)久保豊二番町ビル3階二番町ホールで開催した。
議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 委員長及び副委員長の選任について

事務局から、協会委員会設置規程第4条5項により、委員長は委員の互選とし、副委員長は委員が指名することとなっていると説明し、小池委員を互選により委員長に選任するとともに、小池委員長が副委員長に大西委員を指名した。協会委員会設置規程第5条2項により、委員長が議長となるため小池委員長が議長となり進行した。

(2) 令和8年度第2回理事会提出議題について

事務局から、7月2日に開催する理事会の提出議題について以下のとおり説明があり、理事会提出議題としてこれを承認した。

① 顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、令和8年10月2日(金)開催の想定で実施するとの説明があり案の通り理事会に諮ることとなった。

② 適正処理推進事業等活動支援金交付申請について

事務局より資料に基づき、八幡浜地区及び宇和島地区からの活動支援金交付申請内容について説明があり、案の通り理事会に諮ることとなった。

③ 資源循環分野における特定技能制度及び育成就労制度について

事務局より資料に基づき、令和9年度から資源循環分野における外国人労働者の受け入れについて説明があり、会員向けの説明会の開催について、案の通り理事会に諮ることとなった。

④ 新規会員加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、正会員1社の加入について報告があり、理事会に諮ることとなった。

⑤ 報告事項

- ・事務局より資料に基づき、第72回全産連四国地域協議会の協議内容について報告があった。

- ・令和10年度「資源循環と環境を考える全国大会」の愛媛県開催について、事務局より資料に基づき、令和10年11月に、標記大会が松山市で開催の予定であることの報告があった。

- ・愛媛県災害廃棄物処理実動訓練について、事務局より、今年度の愛媛県主催の標記訓練が、西条市での開催で調整中である旨報告があった。

- ・3Rシステム事業化促進支援事業審査会結果について、事務局より資料に基づき、今年度の審査結果の報告及び現在追加募集中である旨の報告があった。

- ・愛媛労働局からの緊急要請について、

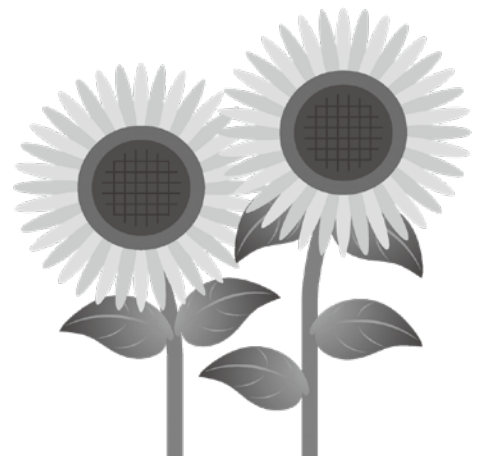
事務局より6月11日の協会会員企業における死亡事故を受けて、愛媛労働局から緊急要請があり、会員に周知を図っている旨の報告があった。

(3) その他

今後の日程について、令和9年度の総会予定も含め、事務局から説明があった。

(4) 第3回総務委員会の日程について

次回総務委員会は、10月2日(金)開催予定の顧問行政懇談会の提出議題を審議するため、8月24日(月)に開催することとした。





令和8年度 第1回企画広報委員会の開催

第1回企画広報委員会を令和8年5月8日(金)、協会会議室で開催した。

1. 議 題

- (1) 「えひめの資源循環」第29号（5月号）
企画編集について
内容について協議し、「えひめの資源循環」第29号（5月号）を5月末に発行した。

- (2) ホームページについて
・アナリティクスのページで1月から3月のアクセス解析の報告とバナー広告等のクリック数の報告。
・ホームページ開設時からの年度別集計で2023年度からの年度別集計報告。

(3) その他

- ① 「えひめの資源循環」第30号（8月号）の表紙について
・表表紙…えひめの駅「梅津寺駅」
富久・西村委員撮影。
・裏表紙…自由写真「大洲のポスト」
濱口委員撮影。
裏表紙の説明に看板の写真を使用する。

- ② 次期委員長・副委員長の選任について
・正式には第2回委員会で決定するが、岩田委員以外はメンバーに変更ないので今回互選で内定し、新副委員長を新委員長が指名することとした。

- ③ 次回委員会の開催日について
・第30号（8月号）
令和8年8月5日(水)13：30～
・編集後記…桑原（8月号）
西村（11月号）
全員（1月号）
岩津（5月号）

の順に決定した。



令和8年度 優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催した。

○ 産業廃棄物処理の実務者研修

開催日 令和8年6月12日(金)

開催場所 リジェール松山 (JA愛媛)

受講者数 91名

研修内容

① 開講挨拶

② 講義 「産業廃棄物処理の基礎」 (講師 岩田 隆 氏)



○ 許可手続き研修

開催日 令和8年7月1日(水)

開催場所 リジェール松山 (JA愛媛)

受講者数 41名

研修内容

① 開講挨拶

② 講義 「産業廃棄物に係る許可手続き等について」
(講師 行政書士 仲村 正美 氏)





令和8年度 松山市受託労働安全衛生研修の開催 (産業廃棄物処理業者研修事業)

松山市受託の産業廃棄物処理業者育成事業である労働安全衛生研修を、専門の講師を招き松山市の産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催しました。

○ 労働安全衛生研修

開催日 令和8年7月24日(金)

開催場所 リジェール松山 (JA愛媛)

受講者数 41名

研修内容

- ① 開講挨拶
- ② 講義1

「熱中症対策

～規則改正に伴い管理監督者として実施すべきこと～」

(講師 中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンター
四国支所 主席参事 衛生管理士 高橋 淳 氏)



講義2

「感じて学ぶ安全体感教育」

～はさまれ 労働災害を疑似体験～

(講師 株式会社イージーエス 業務サービス部 村上 勇斗 氏)





2026年度産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の 許可申請に関する講習会の開催について

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が、インターネットで講義を受講する「オンライン形式」と、会場で講義を受講する「対面形式」により開催されている。

なお、愛媛県の試験会場は松山市の「リジェール松山8階クリスタルホール」で、開催結果は以下の通り。

○対面形式	開催会場（リジェール松山）
試験日時	2026年7月28日(火) 9:00
講習会（課程）	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）
受講者数	127名

○オンライン形式	開催会場（リジェール松山）
試験日時	2026年7月29日(水) 10:00
講習会（課程）	産業廃棄物の処分課程（新規）
受講者数	19名

試験日時	2026年7月29日(水) 10:00
講習会（課程）	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程（更新）
受講者数	28名

試験日時	2026年7月29日(水) 13:30
講習会（課程）	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）
受講者数	65名

試験日時	2026年7月29日(水) 15:40
講習会（課程）	特別管理産業廃棄物管理責任者講習
受講者数	70名

試験日時	2026年7月30日(木) 10:00
講習会（課程）	産業廃棄物の収集・運搬課程（新規）
受講者数	69名

試験日時	2026年7月30日(木) 13:30
講習会（課程）	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）
受講者数	28名



令和8年度 3Rシステム事業化促進支援事業

3Rシステム事業化促進支援事業につきましては、3月24日から4月30日まで会員に対して募集しましたが、2件の応募があり、5月19日に事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査をしたところ、全件採択されました。

また、協会が行う3Rシステム等調査研究事業については、検討会を設置し、再資源化技術について分析検討や調査研究視察を行い循環型社会ビジネスの事業化について取りまとめるとともに、昨年度に引き続き研究成果発表会を開催するほか、災害時における対応強化のため、災害時に支援可能な資機材調査や情報伝達訓練を行いますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。

おって、予算枠に余裕が生じているため、現在、追加募集を行っております。



補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
3Rシステム事業化促進支援事業費補助金(会員)	研究・開発等事業 会員企業が取り組む県内の産業廃棄物の3R及び減量化・製品化又は資源循環の高度化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備事業	3/4以内 補助限度額 500万円	(株)愛亀 ・コンクリート再生骨材の舗装材料への利用研究	500万円
	技術・設備導入事業 産業廃棄物の3R化及び減量化・製品化の推進に係る技術及び設備の導入	1/3以内 補助限度額 500万円	(株)イージーエス ・汚泥資源からの燃料化物製造への実用化研究および地域資源(製紙スラッジ等)の利活用検討	500万円
3Rシステム等調査研究事業(協会)	調査研究事業費 産業廃棄物の3Rのリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のBCP計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	3/4以内	えひめ産業資源循環協会 ・3Rシステム技術研究調査事業	300万円

補助金総額1,300万円



JWセンター主催 処分業者向け 電子マニフェスト追加項目説明会の開催

廃棄物処理法施行規則の改正（2025年4月22日公布、2027年4月1日施行）により、電子マニフェストの「処分終了報告(最終)」「最終処分終了報告」に入力項目が追加されます。

これにより、再資源化を含む処分の状況をさらに把握できるようになり、排出事業者責任の徹底による廃棄物の適正処理の強化と資源循環の促進が期待されます。

処分業者の皆様が円滑に対応いただけるよう、制度の仕組みや改正に伴うシステムの変更、利用方法等についての説明会を下記の日程で開催しました。

開催日 令和8年6月15日(月)

開催場所 リジェール松山（JA愛媛）

受講者数 46名

説明会内容

- 制度概要
- 追加される項目について
- 報告までの事前準備・情報の整理/報告方法について
- 再資源化等の情報の確認 等



※12月18日(金)にも、愛媛県受託事業の研修として開催いたしますのでぜひご参加ください。